

3 CoRE & CDL TIMES

2018

発行日：2018年9月30日（季報）



2018
6.2

Let's Go HOKUEI ツアー 2018

～地域着地型観光ツアー～

東伯青年会議所と鳥取中央育英高校が2016年に始めた事業に今年も鳥取大学も参加しました。そのツアーの発表会がこの日、CDLで行われ、高校と大学連携による地域着地型観光ツアーの取り組みについて工学部の大学院生が発表しました。観光による地方創生という問題に対し、高校生のアイデアに大学生が手を加え、内容の充実した発表会となりました。



2018
6.11 ~
7.6

イラストレーター毛利彰・原画展 IN 鳥取大学

ミニ美術展 毛利彰の代表作とデッサン展

企業広告や映画のポスター、雑誌・書籍の装画、新聞連載のさし絵等幅広く活躍し、4月に没後10年を迎えた日本を代表する草創期のファッションイラストレーター毛利彰の原画や作品・資料を鳥取大学CDLに展示しました。市民の方々に学内に来て観ただけ、芸術文化を地域に生かす方法や地域文化を担う次世代の育成等を考える機会になりました。

6月17日には鳥取大学地域学部附属芸術文化センターの筒井宏樹准教授を講師とした講演会「毛利彰と鳥取」が行われ毛利彰の人生を通して鳥取との関わり、絵のタッチの推移を貴重な資料をもとに学びました。

期間中、延べ545名の方がこの美術展を楽しみました。



6月11日から15日はラボ・サロン「毛利彰を街に生かす」を村瀬コーディネーターが開催。ワークショップを行い、街に毛利彰をどう生かすかアイデアを募りました。

2018
6.14

地域と大学の交流会



「地域実践活動の魅力」をテーマとした地域と大学の接点となるような交流会がCDLで行われました。地域での実践にチャレンジしようとする学生を応援する企画で、今回は日本財団鳥取事務所所長の木田悟史氏をゲストに迎え、本学地域価値創造研究教育機構 地域連携PBL推進室長の成清准教授がコーディネーターとなり学生や教職員も参加するアットホームな雰囲気の中、挑戦を支援する助成制度や、大学や地域の応援体制について紹介しました。

2018
6.29

映画『息の跡』上映＋小森監督トーク



ドキュメンタリー映画の上映会と、監督の小森はるかさんのトークイベントがCDLで行われました。映画は映像作家の小森はるかさんが、2016年に公開した劇場長編デビュー作。舞台は岩手県陸前高田市。津波で自宅兼店舗を流された佐藤貞一さんが、その跡地に自力でプレハブを建てて営業を再開した種苗店「佐藤たね屋」と、自らの体験を独習した英語で綴り、自費出版している佐藤さんを小森はるかさんのカメラが追う。

震災のあと、東京をはなれ、陸前高田で暮らしはじめた小森監督は、刻一刻とかわる町の風景と、そこで出会った人びとの営みを記録してきたという。

映画上映後、本学地域学部国際地域文化コースの佐々木友輔講師がインタビューとなり、制作にいたったきっかけや、制作秘話などを楽しくお話しいただきました。

企画：鳥取大学地域学研究会(准教授 稲津秀樹)

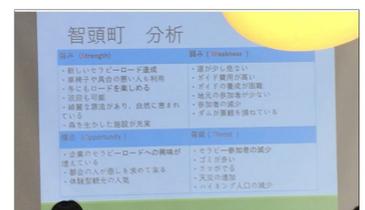
2018
7.18

とっとり暮らし早期体験学習発表会



鳥取大学の学生が、地域価値創造研究教育機構 清水克彦准教授の指導のもと、県内6つの地域（大山町、琴浦町、智頭町、八頭町、南部町、日南町）で体験活動し、その内容や気付いた点、課題解決に向けた提案を発表する会がCDLで行われました。

4つの学生グループが各地域の「強み」と「弱み」「機会」「脅威」となる要素を体験に基づき抽出、それを踏まえた課題解決方法を提案しました。



2018
8.7~
8.9

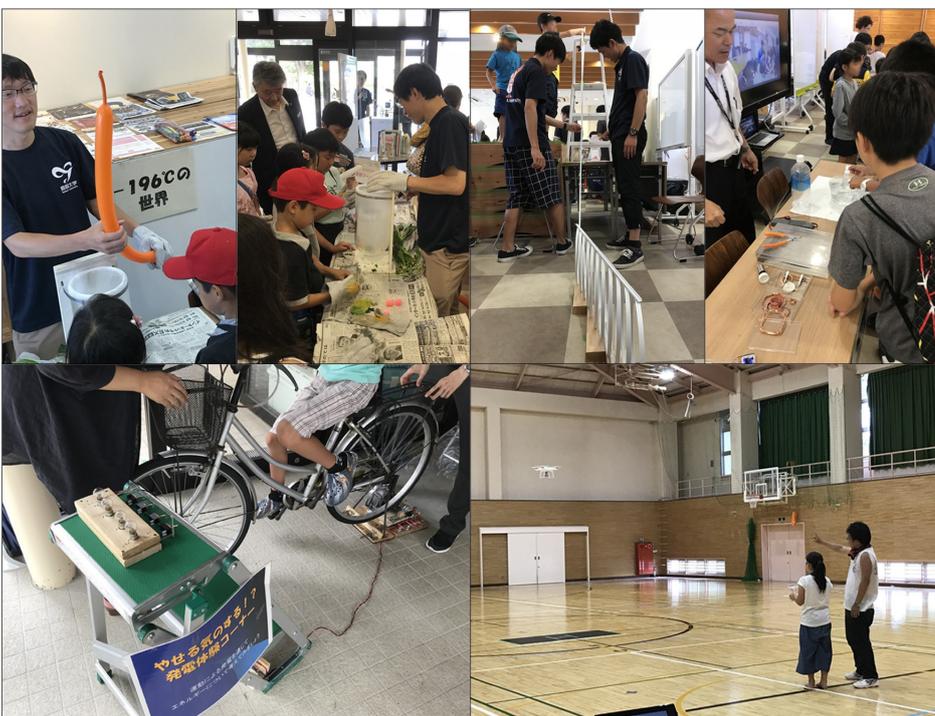
夏休み！科学の遊び場 in 鳥取大学

出前 おもしろ実験室



鳥取大学技術部のプロジェクトチームが3日間にわたり、コミュニティ・デザイン・ラボで行った「出前おもしろ実験室」。夏休み中ということもあって多くの小学生が初日から来場して盛り上がりました。紙コップで万華鏡を作ったり、ロボットで遊んだり、水を通して静電気を発生する装置に子供達だけでなく保護者の方も興味津々でした。

親子連れの方だけでなく豊島学長も含めた本学の教職員も多数来場され、3日間で延べ350人近くの方がイベントを楽しみました。



8月7日

- ベンハムのぶんぶんゴマ
- なんでもスピーカー ●ロボットで遊ぼう
- 電気で遊ぼう ●ダイラタンシー
- クロマトdeアート

8月8日

- 紙コップ万華鏡 ●浮沈子 ●人エイクラ
- LEDミニライト ●ビー玉ジェットコースター

8月9日

- 固気流動層 ●風船電話
- 風船ロケット ●-196°Cの世界
- 宙に浮くコマ&ゴム銃で遊ぼう♪
- 自転車発電 ●ドローン実演飛行

出前 おもしろ実験室

<https://omoshiro.tech.tottori-u.ac.jp>

コミュニティ・デザイン・ラボ イベント予定

開催日	イベント名
10/4~11	イタリアン・スケッチーズ ~ザ・ルネサンス~ by Antoine Dib
10/6, 7	企業見学シャトル便(Part.2)
10/12	CoRE RADIO 公開収録
10/17, 11/14	地域を知り、地域で実践するアートマネジメント 2018
10/28	アイデアソンイベント(ものづくり教育実践センター&鳥取県)
11/4	映画上映会&講座

※予定は変更になる場合がございます。詳細は当機構HPでご確認ください。

「モンゴルをフィールドとする乾燥地研究」

会場：鳥取県立図書館 2F 大研修室

時間：10:30～12:00

米子市立図書館、倉吉市立図書館、琴浦町図書館、加藤文太郎記念図書館でライブ中継による聴講ができます。(10/27は大山町立図書館本館、南部町立法勝寺図書館でも聴講可能)

2018
08/25 「モンゴルの大自然と人々の暮らし」
乾燥地研究センター センター長 山中 典和

モンゴルでは首都ウランバートルから一歩外に出ると、草原を中心とした大自然が広がっています。そして、そこには草原を利用して家畜とともに生きる人々の暮らしがあります。モンゴルを対象としたサイエンス・アカデミーの第1回目は、モンゴルの自然環境の概要と、家畜の放牧を支える放牧地の植物について紹介いたしました。

中高生・保護者の方もぜひお越しください！

2018
09/08 「モンゴルの自然災害・環境汚染と健康」
国際乾燥地研究教育機構 准教授 大谷 真二

モンゴルにおける砂塵嵐や干ばつ、寒雪害等の自然災害や近年深刻化している環境汚染は直接的・間節的に地域住民や家畜に大きな被害を与えています。ときに、その影響は日本にまで及び、対岸の火事ではすまなくなっています。本セミナーでは主にモンゴルの環境に起因した健康問題について解説しました。

2018
09/22 「ゴビ砂漠の観測で分かってきた黄砂発生の原因」
乾燥地研究センター 准教授 黒崎 泰典

鳥取大学ではゴビ砂漠北部のツォクトオポーに黄砂モニタリングシステムを設置し、黄砂発生の観測を行ってきました。現地の年平均降水量はわずか100mmですが、年による降水量の違いが土壌や植生に大きな変化をもたらし、黄砂発生に影響していることが分かってきました。講演では、観測からわかってきた黄砂発生メカニズムを紹介しました。



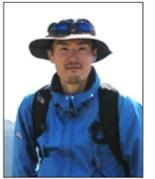
2018
10/13 「モンゴル草原の野生動物大移動：謎を探る。そしてまもる」
明治大学研究・知財戦略機構 研究推進員 伊藤 健彦

大型哺乳類の大移動。この壮大な生態現象には多くの謎が残されています。そして、その謎が解明されないまま、人間活動の影響によって消滅しようとしています。モンゴルの大草原に生きる野生哺乳類の数100kmに及ぶ大移動の実態とこれらに迫る脅威を、最新の観測技術や研究成果を交えて紹介します。



2018
10/27 「アルタイ山脈に生息するユキヒョウの生態解明と保全」
乾燥地研究センター プロジェクト研究員 杉本 太郎

希少な野生動物の多くは観察が難しく、その生態を知ることは簡単ではありません。そこで私は野外に残された糞を調べています。糞にはその動物の様々な情報が含まれており、生態解明と保全に貢献することができます。本セミナーではモンゴル南部ゴビステップに生息する草食動物や、モンゴル西部アルタイ山脈に生息するユキヒョウの研究について紹介します。



鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ 利用方法

鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ(CDL)は、鳥取大学の教職員や学生だけでなく、地域住民を始めとする学外の様々な方々にも、研修やセミナー、各種の発表会やイベントなどいろいろな目的で利用していただける施設です。皆さんに安全・快適にご利用いただくため、次の事項については御承知・御遵守いただくようお願いいたします。

専用利用

会員登録を受けた方は、スタッフが在室していない時間帯も含め、利用承認を受けて、室内の全部又は一部を貸し切りで利用することができます。

自由利用

CDLにスタッフが在室している時間帯(平日9時30分から18時まで)には、随時自由に入室し、空いている席で打合せや雑談、休憩等をしていただけます。

会員登録 鳥取大学の教職員、又はそれが利用責任者となる団体のみ

CDLの専用利用を希望される方は、所定の事項を用紙に記入して、CDLへ持参、若しくはメールにより提出してください。

▶▶▶ イベント毎の利用申請

会員登録を受けた方は、以下の事項をCDLのアドレスメールで送信してください。

- ・登録時に指定された会員番号
- ・利用希望日時(「準備や後片付けを含め〇時〇分から〇時〇分まで利用。イベントは〇時〇分から〇時〇分まで」等と記載)
- ・利用目的(実施予定企画の名称及び概要を記載。学外の方が多く利用される場合、なるべく学内と連携・協働した内容となるよう心掛けてください)
- ・予定参加人数(教職員〇名、鳥大生〇名、一般〇名)
- ・連絡先電話番号、住所及びメールアドレス(登録時と異なる場合のみ)

CoRE 地域価値創造研究教育機構 のHPができました! <https://www.pcre.tottori-u.ac.jp>
Platform for Community-based Research and Education

コミュニティ・デザイン・ラボとは?

地域価値創造研究教育機構による様々な活動をスムーズに、活発に行っていくための拠点です。地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。

CDL コミュニティ・デザイン・ラボ

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地
(鳥取大学正門入ってすぐ 広報センター内)
TEL: 0857-31-5870
Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp